

2023 年度一般社団法人日本ゴールボール協会事業計画

1. 大会関係事業

【主要大会】

◆女子予選大会

日程：2023 年 7 月 15 日（土）・16 日（日）・17 日（月・祝）

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木 5 丁目 3 番地

備考：参加チーム数により、日程調整をする。

◆男子予選大会

日程：2023 年 9 月 16 日（土）・17 日（日）・18 日（月・祝）

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木 5 丁目 3 番地

備考：参加チーム数により、日程調整をする。

◆日本選手権大会

日程：2023 年 11 月 3 日（金・祝）・4 日（土）・5 日（日）

会場：新宿スポーツセンター

〒169-0072 東京都新宿区大久保 3 丁目 5 - 1

備考：参加チーム数により、日程調整をする。

【共催大会】

◆2023 ジャパンパラゴールボール競技大会（JPSA 主催）

日程：未定

会場：未定

【オフィシャルクリニック】

◆女子予選大会 オフィシャルクリニック

日時：2023年6月11日（日）

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5丁目3番地

備考：レフェリークリニックと合同開催

◆男子予選大会 オフィシャルクリニック

日時：2023年8月6日（日）

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5丁目3番地

備考：レフェリークリニックと合同開催

◆日本ゴールボール選手権大会 オフィシャルクリニック

日時：2023年10月1日（日）

会場：新宿スポーツセンター

〒169-0072 東京都新宿区大久保3丁目5-1

備考：レフェリークリニックと合同開催

【国内レフェリークリニック・審判員入門講習会】

◆女子予選大会 国内レフェリークリニック現任研修・審判員入門講習会（新任研修）

日時：2023年6月10日（土）・11日（日）

※現任研修は実技講習のみ

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5丁目3番地

備考：オフィシャルクリニックと合同開催

◆男子予選大会 国内レフェリークリニック現任研修・審判員入門講習会（新任研修）

日時：2023年8月5日（土）・6日（日）

※現任研修は実技講習のみ

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5丁目3番地

備考：オフィシャルクリニックと合同開催

◆日本選手権大会 国内レフェリークリニック現任研修・審判員入門講習会（新任研修）

日時：2023年9月30日（土）・10月1日（日）

※現任研修は実技講習のみ

会場：新宿スポーツセンター

〒169-0072 東京都新宿区大久保3丁目5-1

備考：オフィシャルクリニックと合同開催

◆審判員入門講習会（新任研修）・オフィシャルクリニック

①福岡 審判員入門講習会（新任研修）・オフィシャルクリニック

日時：2023年9月3日（日）

会場：クローバープラザ

〒816-0804 福岡県春日市原町3丁目1-7

②岐阜 審判員入門講習会（新任研修）・オフィシャルクリニック

日時：2023年10月8日（日）

会場：岐阜盲学校

〒500-8807 岐阜県岐阜市北野町70-1

◆公認レフェリー認定レフェリークリニック（予定）

日時：未定

会場：未定

2. 強化合宿等開催事業

(1) トップカテゴリー

《2023年》

- ① 4月8日(土)～16日(日) NTC イースト
- ② 4月22日(土)～30日(日) NTC イースト
- ③ 5月6日(土)～9日(火) NTC イースト

- ④ **【リトアニア遠征：INTERNATIONAL MEN GOALBALL TOURNAMENT (男子)】**
会場：ヴィリニュス (リトアニア)
日程：5月11日(木)～14日(日)
※5月9日(火) 出国～16日(火) 帰国予定

- ⑤ **【スウェーデン遠征：Malmo Lady Intercup 2023 (女子)】**
会場：マルモ (スウェーデン)
日程：5月18日(木)～21日(日)
※5月16日(火) 出国～23日(火) 帰国予定

- ⑥ 6月10日(土)～18日(日) NTC イースト
- ⑦ 6月24日(土)～7月2日(日) NTC イースト

- ⑧ **【トレーニングキャンプ：Brazil Training Camp (男子)】**
会場：サンパウロ (ブラジル)
日程：6月29日(木)～7月6日(木)
※6月28日(水) 出国～7月7日(金) 帰国予定

- ⑨ 7月22日(土)～30日(日) NTC イースト
- ⑩ 8月11日(金・祝)～18日(金) NTC イースト

- ⑪ **【IBSA 最終予選：2023 IBSA World Blind Games (男女)】**
会場：バーミンガム (イギリス)
日程：8月17日(木)～28日(月)
※8月18日(金) 出国～28日(月) 帰国予定

- ⑫ 9月23日(土)～10月1日(日) NTC イースト

⑬ 10月14日(土)～20日(金) NTC イースト

⑭ 【アジアパラ：Asian Para Games (男女)】

会場：杭州(中国)

日程：10月22日(日)～28日(土)

※10月21日(土) 出国～29日(日) 帰国予定

⑮ 11月6日(月)～9日(木) NTC イースト

⑯ 【2023 Asia Pacific Championships (男女)】

会場：杭州(中国)

日程：11月10日(金)～19日(日)

※11月10日(金) 出国～20日(月) 帰国予定

⑰ 12月9日(土)～10日(日) NTC イースト

⑱ 12月16日(土)～24日(日) NTC イースト

《2024年》

⑲ 1月6日(土)～14日(日) NTC イースト

⑳ 1月27日(土)～28日(日) NTC イースト

㉑ 2月10日(土)～18日(日) NTC イースト

㉒ 3月2日(土)～10日(日) NTC イースト

㉓ 3月23日(土)～24日(日) NTC イースト

(2) 次世代・ユースカテゴリー

《2023年》

① 4月22日(土)～23日(日) 所沢市民体育館

② 5月27日(土)～28日(日) 所沢市民体育館

③ 【韓国遠征、第3回 忠清南道知事杯 全国障害者ゴールボール大会】

会場：忠清南道 牙山市(韓国)

日程：7月7日(金)～9日(日)

※7月6日(木) 出国～9日(日) 帰国予定

④ 8月12日(土)～13日(日) 所沢市民体育館

⑤ 9月9日(土)～10日(日) 所沢市民体育館

⑥ 【ユースキャンプ】

会場：所沢市民体育館

日程：10月8日（日）～9日（月・祝）

⑦ 11月11日（土）～12日（日）所沢市民体育館

《2024年》

⑧ 1月20日（土）～21日（日）所沢市民体育館

3. 技術部

(目的)

視覚特別支援学校・障害者スポーツ関連機関・また一般校に通う視覚障害者生徒を対象とし、国内でゴールボール競技の普及と振興を推進する。

また、地域での体験会や障害の有無に関わらず、互いの交流や競技普及を目的とする大会などの機会を設け、パラスポーツの理解と普及・啓発を図る。

(1) 「盲学校体育連盟等との連携事業」

誰もがゴールボールに触れることが出来るユニバーサルスポーツのスタートとする。

各都道府県の視覚特別支援学校及び一般校の特別支援学校 2校予定

(2) 「ゴールボールキャンプ (合同練習会)」

全国盲学校体育連盟を通じて全国2～3カ所の地域で、中学生・高校生年代を対象にゴールボール競技の合同練習会の実施を図る。強化委員会と共同運営。

<対象：全国盲学校体育連盟を通じて各盲学校へ参加を呼び掛けるほか、一般校に通う視覚障害学生や、見えない、または見えにくいという困りごとを感じている学生とその友人等>

◎日程：2023年10月8日(日)～9日(月・祝) 会場：所沢市民体育館

◎日程：未定 会場としては、関西・九州地域

(3) 「2023チャレンジゴールボール大会 Supported by デイ・クリエイト」

未経験者・初心者の方が、気軽にゴールボールに触れ、パラスポーツを楽しむ交流型大会。8地域にて開催。

<対象：高校生以上、障害の有無問わず>

◎2023チャレンジゴールボール北信越大会 Supported by デイ・クリエイト

日程：2023年6月25日(日) 会場：長野県障がい者福祉センター「サンアップル」

◎2023チャレンジゴールボール近畿大会 Supported by デイ・クリエイト

日程：2023年7月9日(日) 会場：京都市障害者スポーツセンター

- ◎2023 チャレンジゴールボール関東大会 Supported by デイ・クリエイト
日程：2023年8月12日（土） 会場：江戸川区スポーツセンター
- ◎2023 チャレンジゴールボール北海道・東北大会 Supported by デイ・クリエイト
日程：2023年8月27日（日） 会場：札幌市身体障害者福祉センター
- ◎2023 チャレンジゴールボール東海大会 Supported by デイ・クリエイト
日程：2023年10月22日（日） 会場：名古屋市障害者スポーツセンター
- ◎2023 チャレンジゴールボール中国大会 Supported by デイ・クリエイト
日程：2023年11月11日（土） 会場：邑南町健康センター元気館（島根県）
- ◎2023 チャレンジゴールボール四国大会 Supported by デイ・クリエイト
日程：2023年11月26日（日） 会場：とくぎんトモニアリーナ（徳島県）
- ◎2023 チャレンジゴールボール九州大会 Supported by デイ・クリエイト
日程：2024年1月28日（日） 会場：SAGA パラスポーツセンター

（４）「ゴールボールアドバンスカップ」

チャレンジ大会と日本選手権（男女予選大会）との間の位置づけとし、男女別に試合を行う。

参加チームは競技規則の習熟に努め、レフェリー、オフィシャルスタッフは研修の場とし、公認レフェリー資格取得を目ざす。大会を通じ、共に学びの場とする中級者レベルの大会。

＜対象：原則チャレンジ大会に参加したことがあるチーム、または同等レベルの参加者。

障害の有無問わず。＞

- ◎日程：2023年10月7日（土） 会場：所沢市民体育館

（５）「その他体験会事業・講演会協力」

- ◎「豊かな心を育む体験活動の充実事業」 依頼：ニッポン放送プロジェクト

日程：2023年5月23日（火）

会場：北区さくらこども園

- ◎「ゴールボール体験授業」 依頼：本庄市スポーツ推進課・学校教育課

日程：2023年9月6日（水）

会場：埼玉県市立金屋小学校

◎「パラスポーツ体験会」 依頼：北本市スポーツ協会

日程：2023年10月9日（月・祝）

会場：北本市体育センター（埼玉県）

◎「パラリンピック競技体験授業」 依頼：新宿区教育委員会

日程：未定

会場：新宿区内小学校4校予定

◎「パラスポーツ学校事業」 依頼：世田谷区スポーツ推進部

日程：未定

会場：世田谷区内小学校・中学校予定

4. 広報・マーケティング部

2023年度は、2022年度に見直したJGBA中・長期基本計画を着実に実践する年にしていく。これまでの活動を継続・発展させつつ、日本代表選手の発信力や知恵を借りながら、ゴールボールの認知を高める。また、協会内のコミュニケーションを活性化させ、事業の相乗効果・有機的な連動や連携を促進し、ゴールボール競技の普及に貢献する。さらに、日本ゴールボール選手権大会30回記念大会に関する企画・実施、活動開始30周年（日本におけるゴールボール30周年）記念事業の計画立案に取り組む。

JGBA中・長期基本計画（広報・マーケティング計画抜粋）

- ・ 2028年には、日本ゴールボール選手権大会において観客席の80%が埋まっている、また、予選大会において観客席の50%が埋まっている。
- ・ 2028年までに、47すべての都道府県において『ひとつのクラブチーム』が継続して活動し、『(各都道府県に)一人の指導者（公認ライセンス保有者）』『(各地域に)二人のレフェリー（公認審判員制度登録者）』『(各都道府県に)三人の正会員』がいる。
- ・ 2028年までに、協会財源の3分の1は、自主財源（会費、個人寄付、事業収入、企業協賛）となっている。

(1) 「ゴールボールを『知る』」を増やすための広報・マーケティング

これまでのウェブサイト、ソーシャルメディア、メールマガジン、プレスリリースといった情報発信を継続し、ゴールボールを知るための発信内容（コンテンツ）の充実を図る。また、パリ2024パラリンピックに向けてメディア（報道機関）との関係を強化する。

- ・ 月刊ゴールボールマガジン購読キャンペーンの実施
- ・ SNSを使った積極的な情報発信／支援者との交流
- ・ 日本代表強化指定選手のライフストーリーの発信
- ・ ゴールボール紹介パネルの活用（文化祭や学園祭での利用提案、教育現場での利用提案）
- ・ メディア（報道機関）向けの体験会

(2) 「ゴールボールを『観る』」を増やすための広報・マーケティング

会場来場によるゴールボール観戦に加え、全国からオンラインで観戦できるように環境を整える。そのひとつとして、競技ルール・観戦マナー動画を作成する。30回目の記念大会となる日本ゴールボール選手権大会を盛り上げる企画を行う。

- ・ クラブチームに関する情報収集と情報発信
- ・ 競技ルール・観戦マナー動画活用による来場者拡大
- ・ 日本ゴールボール選手権大会期間中のゴールボール選手の特徴を伝えるイベント企画

(3) 「ゴールボールを『する』」を増やすための広報・マーケティング

他の部会との綿密に連携し、盲学校や視覚特別支援学校以外の一般校に通う生徒・保護者へのアプローチも意識して主催事業の広報に取り組む。

- ・ チャレンジゴールボール大会や体験会の案内に加え、開催報告（参加者の声）の発信
- ・ 一般校に通う視覚障害生徒と保護者にも届く広報アプローチの検討
- ・ 競技ルール動画を利用した教材開発

(4) 「ゴールボールを『支える』」を増やすための広報

主催事業の有機的な連動を図り、レフェリーや指導者、大会ボランティア、会員、寄付といった個人での参加・協力を促す。また、学生と協働し次世代のパラスポーツの担い手の育成に取り組む。

- ・ レフェリー・クリニック／オフィシャル・クリニックの開催地域（東京都/埼玉県/福岡県/岐阜県）を重視した情報発信
- ・ 盲学校・視覚特別支援学校の教員やパラスポーツ指導員といった公認ライセンス制度（指導者）の想定参加者を明確にした広報
- ・ チャレンジゴールボール大会や日本ゴールボール選手権など主催事業における会員入会や寄付の呼び掛けや公認ライセンス制度や公認審判員制度の紹介を意識的に実施
- ・ 2022年度に設置したイノベーション推進室を発展的に解消し、学生と協働しパラスポーツ学生ネットワーク（仮称）運営委員会を立ち上げる。パラスポーツ学生ネットワーク（仮称）の運営を通じてパラスポーツを支える次世代の担い手を育成する

(5) 「ゴールボールを『支える』」を増やすためのマーケティング

協会の財源の3分の1を会費、個人寄付、事業収入、企業協賛といった自主財源にすることを目標にし、協会財源の確保と多様化に貢献する。ゴールボール競技の普及を妨げている課題を他部会とともに整理し、企業・団体の力を借りて課題を解決し、ゴールボール競技の普及を加速させる。

会費

- ・ オリオン JAPAN の活用した継続記念品・会員入会特典作成による会員の維持と入会促進

- ・ 会員種別の見直し・多様化の検討

寄付

- ・ 誰でも参加しやすいブックオフコーポレーションと協働した物品寄付プログラムの開始
- ・ 新規企業や教育機関、団体に対するブックオフコーポレーションと協働した物品寄付プログラムの積極的な営業活動

企業協賛（オフィシャル・パートナー・プログラム）

- ・ オフィシャル・パートナー・プログラム参画企業の企業イメージの向上に貢献する情報発信
- ・ パートナーミーティングの定期的な開催
- ・ 日本代表選手や理事、他部会と連携・連動したオフィシャル・パートナー・プログラム参画企業の満足度向上のための取り組み（企業訪問やゴールボール体験会の開催）
- ・ 日本代表強化指定選手が所属する企業・団体（教育機関）に対するアプローチ強化
- ・ 企業・団体のニーズを的確に把握して協賛メニューと権益の多様化の検討
- ・ 「地方自治体・教育機関向け参画プログラム」を新設・具体的な展開

5. 理事会開催日（案）

◎理事会 全てオンライン会議

第1回	2023年	4月	9日(日)
第2回		5月	6日(土)
第3回		6月10日	(土)
第4回		7月	8日(土)
第5回		8月12日	(土)
第6回		9月	9日(土)
第7回		10月14日	(土)
第8回		11月11日	(土)
第9回		12月	9日(土)
第10回	2024年	1月13日	(土)
第11回		2月10日	(土)
第12回		3月	9日(土)